

「公益信託ENEOS水素基金」2008年度 助成対象者の決定について
～柳下立夫氏、大久保達也氏、藤原正浩氏、寺坂宏一氏、工藤昭彦氏の5名に決定～

各位

当社(社長:西尾 進路)が設定した「公益信託ENEOS水素基金(運営委員長:太田 健一郎 横浜国立大学大学院教授、受託者:中央三井信託銀行)」は、この度、2008年度助成対象者を次の5名(敬称略)に決定しましたのでお知らせします。

柳下 立夫 ((独)産業技術総合研究所 主任研究員)
大久保 達也 (東京大学大学院工学研究科化学システム工学専攻 教授)
藤原 正浩 ((独)産業技術総合研究所 主任研究員)
寺坂 宏一 (慶応義塾大学理工学部応用化学科 教授)
工藤 昭彦 (東京理科大学理学部応用化学科 教授)

本基金は、水素エネルギー供給に関する研究助成に特化した公益信託としてはわが国で初めてのものであり、独創的、かつ先導的な基礎研究への助成を行い、水素社会実現に貢献することを目的として、2006年3月に当社が創設したものです。本基金の信託財産の規模は総額15億円と、企業が設定する公益信託としては国内最大規模であり、年間総額5千万円(1件あたり最大1千万円)という大きな研究助成金を、約30年間安定的に交付することが可能です。

本年度は、合計42件の応募がありましたが、本基金の運営委員会において、「本基金設立の趣意との整合性」、「独創性・新規性」、「研究計画の妥当性」等につき公正かつ厳格に審査を行い、5名の助成対象者を決定しました。

当社は、「Your Choice of Energy エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」をグループ経営理念として掲げています。水素は燃料電池等に利用され、サステナブルな社会を創造するためのエネルギーとして期待されていますが、エネルギーシステムとして社会に普及させていくためには、水素エネルギー供給に関して大きな技術革新が必要です。本基金の助成する研究が、1日も早い「水素社会」の到来につながることを期待しています。

以上

 [2008年度 助成対象者および研究テーマ \(PDF:64.1KB\)](#)

 [「公益信託ENEOS水素基金」の概要 \(PDF:307.0KB\)](#)